

2019年度 事業報告

自：2019年4月 1日

至：2020年3月31日

1. 2019年度の会員の異動

(1) 入会 0社

(2) 退会 1社

会 員 名	住 所
住商フーズ株式会社	東京都千代田区一ツ橋1丁目2番2号 住友商事竹橋ビル13階

(3) 会員数 42社 (2020年3月31日現在)

2. 2019年度家畜輸入状況（会員実績）

（1）畜種別輸入頭数

畜種	年度	2019年度	2018年度	2017年度
馬		4,325	5,202	3,916
牛		17,927	16,462	13,743
豚		1,205	379	1,032
緬山羊・鹿		16	30	136
その他の動物		0	10	0
合計		23,473	22,083	18,827

（2）用途別輸入頭数

畜種	種類・用途		2019年度	2018年度	2017年度
馬	軽種馬	繁殖用	122	127	118
		競走用	162	183	146
	軽種馬計		284	310	264
	乗用馬		194	236	188
	重種馬		0	0	0
	肥育用素馬		3,843	4,656	3,464
	と場直行馬		0	0	0
	その他の馬		4	0	0
合計		4,325	5,202	3,916	
牛	血統登録牛	乳用牛	10	175	172
		肉用牛	0	0	0
	血統登録牛計		10	175	172
	その他の牛	乳用牛	3,156	2,244	2,010
		肉用牛	2	0	0
	その他の牛計		3,158	2,244	2,010
	肥育用素牛	共同輸送船	14,759	14,043	11,254
		上記以外	0	0	307
肥育用素牛計		14,759	14,043	11,561	
と場直行牛		0	0	0	
合計		17,927	16,462	13,743	
豚	繁殖用豚		1,205	379	1,032
	その他の豚		0	0	0
	合計		1,205	379	1,032
緬山羊 山羊 鹿	繁殖用		16	30	136
	その他の緬山羊・鹿		0	0	0
	合計		16	30	136
上記以外の大動物		0	10	0	
上記以外の中動物		0	0	0	
上記以外の小動物		0	0	0	
総合計		23,473	22,083	18,827	

（注）緬山羊山羊鹿の繁殖用（2019年度：山羊、2018年度：緬羊、2017年度：緬羊）

上記以外の大中小動物（2018年度：水牛）

(3) 家畜の輸入検疫に係る受検計画の策定と家畜輸入をめぐる情勢

ア 年間収容計画の策定とその後の調整

計画の策定に際して係留施設の効率的利用を図るため、会員への希望調査の実施（多頭数輸送畜種対象）と状況を考慮しての調整（実績率、時期・場所別収容想定等）を行い、2020年度に向けての希望総頭数27,430頭に対し収容計画頭数（2020年度当初）を27,272頭に設定した。

2019年度輸入においても計画変更及び新規希望への対応・調整のほか、繁殖豚では半年毎の希望調査を実施して計画の修正に反映した。

これらの計画策定と調整に際しては動物検疫所と緊密に連絡を取りつつ、円滑な動物検疫受検体制の維持に努めた。

イ 家畜輸入の状況

近年20,000頭を下回っていたが、2018年度22,083頭、2019年度23,473頭（106%、以下「%」は対前年比）と、かなりの程度上回った。

畜種別及び用途別では、馬4,325頭（83%）うち軽種馬（競走）162頭（89%）、軽種馬（繁殖）122頭（96%）、乗用馬194頭（82%）、肥育用素馬3,843頭（83%）、その他の馬4頭、牛17,927頭（109%）うち血統登録牛（乳用）10頭（6%）、その他の牛（乳用・肉用）3,158頭（141%）、肥育用素牛14,759頭（105%）、豚1,205頭（318%）、山羊16頭であった。

ウ 監視伝染病の摘発状況

2019年度中の輸入検疫において監視伝染病に感染もしくはその疑いありと診断された疾病は、家畜伝染病ではヨーネ病（牛）、アナプラズマ病（牛）、届出伝染病では牛ウイルス性下痢症（牛）であった。

エ 家畜輸入をめぐる課題・話題

① BSE発生国からの生体牛等の輸入停止措置

輸入停止措置によりオーストラリア、ニュージーランドからの輸入に限定。

② 輸入家畜の損耗防止への取り組み

協議会では、係留施設での暑熱による家畜の損耗防止の観点から動物検疫所と意見交換を継続してきている。結果、効果の期待される器材の追加等に取り組んでいる。

③ 動物検疫所の施設整備

施設補修工事等に伴う収容計画への影響を最小限とするため、動物検疫所との情報共有に努めるとともに、施設整備計画についても構想段階から会員への事前周知・協力依頼に留意している。

④ 動物検疫所による水際検疫の強化

検疫探知犬増頭、関係機関連携による検査体制の強化が図られている。

各種疾病の検査にPCR法等の検査法が導入されるとともに、リスク評価に基づく合理的な輸入検査が実施されている。

3. 会議等の開催状況

(1) 総会

次のとおり総会を開催し、原案について審議、承認、議決した。

開催日及び場所	議 決 事 項
第29回定時総会 2019年5月24日 森永プラザビル 23階 E会議室 (東京都港区芝5-33-1)	第1号議案 平成30年度事業報告及び決算に関する件(報告・承認) 第2号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(報告) 第3号議案 2019年度事業計画書及び収支予算書に関する件(報告) 第4号議案 役員の補欠選任に関する件 第5号議案 その他
臨時総会 2019年9月18日 協議会会議室	第1号議案 役員の補欠選任に関する件

(2) 理事会

次のとおり理事会を開催し、協議会の業務運営に関する議案について審議、議決した。

開催日及び場所	審 議 ・ 議 決 事 項
第1回理事会 2019年4月25日 協議会会議室	議 案 第1号議案 第29回定時総会の開催に関する件 第2号議案 平成30年度事業報告、収支決算報告及び監査報告 第3号議案 平成30年度公益目的支出計画実施報告及び監査報告 第4号議案 2019年度収支予算書の組換えの報告・承認 第5号議案 協議会運営事項
第2回理事会 2019年9月18日 協議会会議室	議 案 第1号議案 2019年度臨時総会の開催について 第2号議案 2020年度輸入家畜収容計画策定基本方針 第3号議案 就業規則・給与規定の改正について 第4号議案 報告・連絡事項
第3回理事会 2019年11月19日 協議会会議室	議 案 第1号議案 2019年度上半期決算報告 第2号議案 2020年度輸入家畜収容計画 第3号議案 その他の報告・連絡事項
第4回理事会 2020年3月17日 協議会会議室	議 案 第1号議案 2019年度家畜輸入状況の報告 第2号議案 2020年度輸入家畜収容計画の報告 第3号議案 2019年度収支決算見通しの報告 第4号議案 2020年度事業計画書及び収支予算書の承認 第5号議案 協議会運営事項

(3) 畜種別部会

次のとおり協議会部会組織運営規程に基づく畜種別部会を開催し、家畜輸入に関する共同輸送計画、輸入希望頭数の調整を含む会員の家畜輸入年度計画の策定のほか、動物検疫所との情報交換を行い、家畜輸出入の円滑な実施を図るとともに、動物検疫所の係留施設の効率的運用に努めた。

開催年月日	会 議 内 容
馬部会 2019年 6月19日	議 題 1. 関税協定発効に伴う輸送・検疫に係る再確認について 2. 動物検疫所との情報意見交換 3. その他
牛部会・素馬部会合同 正副部会長会議 2019年11月19日	議 題 2020年度育成牛・素馬輸入計画（案）について
牛部会 2019年11月21日	議 題 1. 2020年度輸入家畜収容計画及び協議会運営事項 2. 2020年度牛（乳用牛）配分・収容計画 3. その他
2020年 2月 6日	議 題 豪州から日本向けに輸出される繁殖牛の家畜衛生条件に関する説明会
素馬部会 2019年11月29日	議 題 1. 2020年度輸入家畜収容計画及び協議会運営事項 2. 2020年度素馬配分・収容計画 3. その他
素牛部会 2019年12月 5日	議 題 1. 2020年度輸入家畜収容計画及び協議会運営事項 2. 2020年度素牛配分・収容計画 3. その他
豚部会 2020年 2月28日	議 題 1. 2019年度家畜収容状況と動物検疫所係留施設の現況 2. 2020年度家畜収容計画策定について 3. 2020年度豚輸入計画について 4. 動物検疫所所管事項説明並びに情報・意見交換

協議会定款第32条に基づく畜種別部会
(2019年度)

2020年3月末日

部会名	部会長	副部会長	部会員
馬	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組、全農畜産サービス(株)、(株)エバーユニオン商会 関東馬匹運輸(有)、グリーンヒルズ(株)、(株)スパイクス 大西洋貿易(株)、(有)T&Tコーポレーション ナーヴィックインターナショナルリンク日本事務所 ナル・トレーディング(株)、(有)ブルーグラスインターナショナル 11社
牛	全農畜産サービス(株) 内田 江一郎	(株)野澤組 野澤 毅一郎	全農畜産サービス(株)、(株)野澤組、兼松(株)、スターゼン(株) (株)ゼン・トレーディング、双日食料(株)、ティーエムシー(株) (株)ナスアグリサービス、(株)藤井商店、マルハニチロ(株) (有)瑞穂農場、三井物産(株) 12社
豚	プライフーズ(株) 高畑 隆	イワタニ・ケンボロー(株) 菊池 将仁	プライフーズ(株)、イワタニ・ケンボロー(株)、伊藤忠商事(株) (有)萱農場、(株)シムコ、ジャパンフード(株)、全農畜産サービス(株) 双日食料(株)、(株)ナスアグリサービス、(株)野澤組 ピクアジェネティクス(株)、日の出物産(株)、マルハニチロ(株) 13社
素牛	双日食料(株) 三浦 英正	マルハニチロ(株) 時津 亮介	双日食料(株)、マルハニチロ(株)、伊藤忠商事(株)、兼松(株) ジャパンフード(株)、スターゼン(株)、全農畜産サービス(株) (有)大平物産、ティーエムシー(株)、日鉄物産(株)、(株)ヒョウチク 丸紅(株)、(有)瑞穂農場、三井物産(株)、(有)南牧場 15社
と牛	兼松(株) 橋本 徹	丸紅(株) 白石 真也	兼松(株)、丸紅(株)、スターゼン(株)、双日食料(株) ティーエムシー(株)、(株)ヒョウチク 6社
素馬	丸紅(株) 白石 真也	ジャパンフード(株) 金田 昭博	丸紅(株)、ジャパンフード(株)、(有)小田桐産業、(株)菅乃屋ミート 全農畜産サービス(株)、双日食料(株)、大西洋貿易(株) ティーエムシー(株)、(株)肉の大塚、(株)フジチク (有)貿易振興サービス、Bostonトレーディング(株)、三井物産(株) 13社

(注) 部会員の表記順は、正・副部会長に続いて50音順

(4) 家畜輸出入に関するセミナー

会員への畜産及び家畜衛生・公衆衛生に対する知識の向上と家畜輸出入の円滑化を図るとともに、会員以外にも普及啓発に努めるために下表の内容にて開催準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の国内情勢から中止とした。

なお、配布予定の印刷物については参考資料として会員へ後日送付した。

開催予定日及び場所	演 題
家畜輸出入に関するセミナー 2020年3月12日 森永プラザビル 23階 A・B会議室	1. 「動物検疫－牛・馬・豚の検疫状況－」 農林水産省動物検疫所精密検査部長 大友 浩幸 氏 2. 「NACCS（動物検疫関連業務）を利用した動物の輸入届出」 農林水産省動物検疫所調整指導官 笹田 陽子 氏

4. その他の主な事業等

(1) 家畜輸出入に関する情報の収集と周知等

農林水産省関係部局、動物検疫所からの2019年度中の通知・事務連絡のうち、家畜の輸出入に関連するものを会員に周知するとともに、国内外での家畜の伝染性疾病発生状況及び関連情報についても必要に応じて会員へ提供した。

(2) 動物検疫所等との意見交換、要望等

動物検疫所との間で家畜の飼養管理・検査時の事故防止（安全対策）に係る意見交換、関係部会への周知並びに家畜の需給動向、輸出国での取扱状況（検査及びワクチン接種状況、隔離状況等）等についての情報の提供、意見交換を行った。

(3) 輸入牛の耳標手配請求・管理報告

牛トレーサビリティ法に基づく輸入牛の耳標の取扱いのうち、オーストラリアでの装着耳標については、(独)家畜改良センター個体識別部への発注手配と管理報告に関与しているほか、随時、連絡調整を実施。

(4) 輸出入・港湾関連情報処理システム（NACCS）の利用推進

動物検疫所電算処理システムのNACCSへの統合以降、システムでの動物輸入の事前届出推進のため、メールにて会員への事前届出案内を行い期限厳守について要請した。

(5) Web サイト利用に係る利便性の維持

Web サイト「JLTA On-Line」上にて家畜輸出入に係る家畜衛生条件の公開、検疫手続に要する各種様式の提供、輸入頭数速報等の情報提供を実施しており、2019年度も家畜衛生条件の締結・改正に伴う最新情報への更新、家畜輸出入に関するセミナー参加への一般公募等について公開した。

(6) 動物検疫所の畜霊祭行事への参加

動物検疫所各係留施設では、輸入検疫の結果、家畜の伝染性疾病に罹患もしくは罹患のおそれがあるとして淘汰された家畜並びに輸送・係留中の事故等で死亡した動物の霊を慰めるため、畜霊祭が開催されていることから、2019年度も4係留施設での本行事に参列した。

5. 2019年度に発出された家畜の輸出入関連通知

(2019年4月1日～2020年3月31日接受分、元号表記年月日は官庁文書日付)

- (1) 平成 31 年 3 月 29 日 - 30 動検 第 1168 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 「動物検疫所特定家畜伝染病対策要領」の一部改正について
- (2) 平成 31 年 3 月 29 日 - 30 動検 第 1338 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 オランダから日本向けに輸出される豚の家畜衛生条件及び証明書様式の改正について
- (3) 平成 31 年 4 月 1 日 - 30 動検 第 1321 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 第32回オリンピック競技大会(2020/東京)及び東京2020パラリンピック競技大会の馬術競技に参加する馬の輸出入検疫要領の制定について
- (4) 令和 元年 5 月 17 日 - 元 動検 第 55 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 リスト国から日本向けに輸出される国際交流競走出走馬及び帰国馬の家畜衛生条件の別紙1の変更について
- (5) 令和 元年 5 月 22 日 - 元 消安 第 389 号 農林水産省 消費・安全局
動物衛生課長
件名 第7回拡大豚コレラ疫学調査チーム検討会調査結果を踏まえた飼養衛生管理基準の再徹底等について
- (6) 令和 元年 6 月 18 日 - 元 動検 第 181 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会及び当該競技会のテストイベントにおける馬術競技に参加する馬の証明書様式について
- (7) 令和 元年 6 月 20 日 - 元 動検 第 214 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 日本から豪州向けに輸出される馬に添付される証明書様式の改正について
- (8) 令和 元年 7 月 5 日 - 元 生畜 第 308 号 農林水産省 生産局畜産部
畜産企画課長
畜産振興課長
飼料課長
食肉鶏卵課長
競馬監督課長
件名 養豚農場への飼養衛生管理基準遵守の周知徹底について(周知依頼)
- (9) 令和 元年 8 月 5 日 - 元 動検 第 417 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 家畜伝染病予防法施行規則の一部改正について
- (10) 令和 元年 9 月 27 日 - 元 動検 第 555 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 スイスから日本向けに輸出される動物及び畜産物等の検査証明書様式について
- (11) 令和 元年 10 月 15 日 - 元 消安 第 2892 号 農林水産省 消費・安全局
動物衛生課長
元 生畜 第 911 号 農林水産省 生産局畜産部
畜産振興課長
件名 豚コレラワクチンを接種した豚等の標識について(周知依頼)

- (12) 令和 元年 10 月 15 日 - 元 消安 第 2910 号 農林水産省 消費・安全局長
元 食産 第 2753 号 農林水産省 食料産業局長
元 生畜 第 921 号 農林水産省 生産局長
件名 豚コレラに関する正しい知識の普及等について
- (13) 令和 元年 12 月 18 日 - 元 動検 第 893 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 豪州から日本向けに輸出される繁殖牛の家畜衛生条件の改正及び証明書様式について
- (14) 令和 2 年 1 月 15 日 - 元 動検 第 950 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 日本からサウジアラビア向けに輸出される国際交流競走出走馬の家畜衛生条件について
- (15) 令和 2 年 1 月 31 日 - 元 動検 第 1004 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 サウジアラビアで開催される国際交流競走に出走後に帰国する馬の家畜衛生条件について
- (16) 令和 2 年 2 月 5 日 - 元 動検 第 1018 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 家畜伝染病予防法の一部を改正する法律等の公布及び施行について
- (17) 令和 2 年 3 月 25 日 - 元 動検 第 1182 号 農林水産省 動物検疫所長
件名 「動物検疫所特定家畜伝染病対策要領」の一部改正について

6. 顧問弁護士及び税理士の委嘱

下記の顧問弁護士及び顧問税理士の指導のもと、一般社団法人業務の公正・的確な運営と経理事務の適正な処理を行った。

区 分	氏 名	住 所
弁護士	谷 眞 人	東京都千代田区有楽町1-6-4 日比谷見附法律事務所
税理士	松 下 敬 三	東京都中央区日本橋大伝馬町2-1-4 松下会計事務所